

アル・アクサ洪水第742日目：トランプ大統領、ガザ治安部隊が協力者を弾圧し続ける中、戦争をほのめかす -

Palestine Chronicle、2025年10月15日、協浜義明訳



国際赤十字委員会は、イスラエル軍によって殺害された数十人のパレスチナ人の遺体と遺骨を受け取った。(Photo: via QNN)

主要事項

* トランプ米大統領は、米政府はハマスが武器を捨てることを望んでいると言い、ハマスはそれに同意したと付言した。「もし武装放棄しなければ、我々がそうさせる」と述べた。

* 抵抗勢力の治安部隊幹部は、停戦直後からイスラエルが、戦争中に資金と武器を供与して育てた無法者の民兵組織を使って、ガザを暴力と混乱に落とし込める戦略をしていることを受けて、治安部隊がガザの秩序と安定を守るために掃討作戦を始めたと言った。

* ガザのパレスチナ保健省によれば、2023年10月7日以降のイスラエル攻撃の犠牲者は、死者67,967人、負傷者170,179人となり、その多くは女性と子どもである。

最新情報

10月16日 11:39 pm

* CNN：トランプ米大統領は、ガザの治安状況は依然として厳しいと述べ、ハマスが約束を守ることを期待すると言った。「私は米軍がガザに入るとは言っていないが、ハマスが殺害をやめなければ、ガザに入ると言う人々がいる」と付言した。

* CNN：米政府高官はCNNに対して、ガザへの人道支援物資の流入を促進するために、国務省が中東にチームを派遣したと言った。

*イスラエル・ハヨム：今夜、ネタニヤフ首相とトランプ米大統領は、死亡人質の遺体返還のペースについて電話会談した。首相は遺体返還の遅延に関してハマスに対するイスラエルの対応策について説明し、大統領はそれを支持した。

*ガザ政府メディア・オフィス：イスラエル軍はガザ回廊全域で約2万発の不発弾があるのを放置しており、住民に重大な脅威となっている。

10月16日 10:47 pm

*パレスチナ・クロニクル：イスラエル刑務所内でパレスチナ人囚人に対するこん棒や警察犬を使った拷問や性的暴行やレイプに関して、釈放された囚人が次々と証言している。

10月16日 10:10 pm

*ガザ保健省：ガザ保健省の病院管理局長は、イスラエルから返還されたパレスチナ人囚人の遺体には、拷問の跡や戦車で轢かれた跡がはっきり残っていると言った。また、120体のうち、身元が確認されたのは6体のみであった。冷蔵施設的能力では1週間の保存が精いっぱい、その後は埋葬するしかない。

*ロイター通信：トランプ米大統領は、「ハマスがガザで人々を殺し続けるならば、我々が介入してハマスを殺害するしかない」と言った。

*ガザ政府メディア・オフィス：昨日ガザに入った援助物資トラックはわずか480台で、必要量の一部にすぎない。最低限のニーズを満たすためには1日600台の援助物資トラックが必要だ。

*イスラエル・メディア：イスラエルは、救助隊と重機を含んだトルコ代表団のガザ入りを拒否した。イスラエルは、ハマスは人質の遺体の大方の位置を知っており、外国の援助なしで回収できるはずだと主張した。

*ホワイトハウス：ホワイトハウスは、ウィトコフ特使とジャレッド・クシュナー上級顧問が、ガザでイスラエル人人質の遺体発見のために、すべての関係者に協力していると発表した。

10月16日 10:09 pm

*ハマス声明：ハマスの囚人・殉教者局の局長は、「アル・アクサ洪水作戦」で、終身刑囚500人を含む4,000人以上を解放したと述べた。彼は、パレスチナ人の民族的権利は交渉で譲れるものでなく、いかなる形でもパレスチナ人を外国による国際的統治を拒否すると言った。「この闘いは銃声が止むことで終わるのではない。これからも続くのだ」と言った。

10月16日 10:07 pm

*WHO：WHO地域事務局長のハナン・バルキーは、ガザ回廊ではやっている感染症は現在「制御不能」だと述べた。ガザにある36病院のうちろうじて13病院だけが部分的に機能している状態であると指摘した。

*国連：ステファン・デュジャリック国連報道官は、ガザへのすべてのクロッシングを開いて、人道支援アクセスを拡大する必要があると改めて強調した。

*アル・ジャジーラ：最近国外追放の形で釈放されたマハムード・アル・アルダはアル・ジャジーラに対し、イスラエルは野外での尋問で数百人、いや数千人のガザ住民を殺害したと語った。彼は、この2年間で「囚人運動の歴史上最悪の時期」だったと述べ、イスラエルのメギッド刑務所を「真の屠殺場」と形容した。彼は、「当局はマルワン・バルグーチの肋骨を折っただけでなく、他の多くの囚人の肋骨も折った」と付言した。

10月16日 7:25 pm

*パレスチナ・クロニクル：パレスチナ人の個人情報監視し収集する力を制限しない限り、Metaはイスラエルの植民地主義に誇り高く貢献し続けるだろう。[オマール・ザーザーの小論](#)を読みたい。

10月16日 7:15 pm

*パレスチナ・クロニクル：今日、イエメン軍は、イスラエルの空爆で参謀総長のモハンマド・アブド・アル・カリム・アル・ガマリ少将が死亡したと発表した。

10月16日 7:06 pm

*パレスチナ・メディア：医療筋がアル・ジャジーラに語ったところによると、西岸地区ヘブロン南にあるアッリヒヤ村で、イスラエル占領軍の銃撃でパレスチナ人の子どもが死亡した。

＊フィナンシャル・タイムズ：トルコは、瓦礫の中から人質の遺体や遺骨を搜索する活動を援助するための人員と重機を派遣する準備を進めている。先週、トルコ国防省は、トルコ軍はガザの平和維持活動の一環として「任務を割り当てられれば、それを遂行する用意がある」と発表した。国防筋は、トルコ軍は「平和維持活動で豊富な経験があり、要請があればいかなる役割も引き受ける用意がある」と言った。

＊ガザ市民防衛団：重機の不足のために数百の遺体が瓦礫の中で放置されたままである。先週金曜日にイスラエル軍が撤退した地域から、103体を収容した。

＊アムネスティ・インターナショナル：アムネスティ・インターナショナルは、フサム・アブ・サフィア医師の拘留延長と、報告されている彼に対する虐待を「言語道断な不正義」と非難した。また、イスラエル裁判所は、カマル・アドワン病院の院長の拘留をさらに6か月延長した。アブ・サフィア医師は、2024年12月27日にイスラエル軍が彼の病院を襲い、施設を破壊したとき、銃を突きつけられて逮捕・拉致された。

10月16日 7:04 pm

＊パレスチナ・クロニクル：今日フサム・アブ・サフィア医師の法廷代理人と家族が確認したところによると、イスラエルの軍事裁判所はアブ・サフィア医師の行政拘留を6か月延長した。

＊ガザ政府メディア・オフィス：イスラエルが引き渡したパレスチナ囚人遺体120体の中に身元不明の遺体数十体がある。イスラエル軍は多くのパレスチナ人囚人を拷問、処刑、殺害を行った。遺体の中には絞首刑を示すロープの跡があったり、戦車の押しつぶされたと見られる跡もあった。メディア・オフィスは、この犯罪行為を調査する独立した国際委員会の設置を求めた。

＊タイムズ・オブ・イスラエル：イスラエル政府高官は「戦争終結後3日間には少なくとも返還されない人質遺体が9体はあるだろうと予想していた」語った。この発言は、ハマスが合意条件の完全な遵守をしなかった場合、とりわけ死亡した人質の遺体の返還に関して遅滞などがあった場合、イスラエルは軍事行動を再開すると警告したことを受けてなされた。

＊パレスチナ・メディア：アル・アウダ病院の報告によれば、イスラエルの無人機がアル・ブレイジ難民キャンプを襲い、パレスチナ人4人が負傷した。

10月16日 5:42 pm

＊パレスチナ・クロニクル：ガザは、その地を覆う瓦礫や、殺害された数千人のパレスチナ人の集団墓地を目にすれば、シオニストの憎悪の深さを決して忘れないだろう。パレスチナは、彼女を支えた者たちと、そうしなかった者たちを記憶するだろう。[ジャマル・カンジによる小論](#)を読みたい。

10月16日 5:39 pm

＊パレスチナ・クロニクル：トランプ大統領は、ピート・ヘグゼス陸軍長官を伴って、不吉な動きをした。軍幹部を集めて、彼は「複数の危険な都市」へ軍を派遣したいと言ったのだ。具体的にはシカゴをテロとの戦いの「軍事訓練の場」として挙げた。

10月16日 5:30 pm

＊パレスチナ・クロニクル：停戦合意で解放されたイスラエル兵は、ハマスが自分の宗教的習慣を尊重して便宜を図ってくれたと語った。これは、イスラエル刑務所におけるパレスチナ人囚人への虐待と対照的である。

10月16日 5:28 pm

＊ガザ保健省：ガザ保健省のムニール・アル・ブルシュ局長は、捕虜交換合意でイスラエルから送還されたパレスチナ人囚人の遺体には、拷問を受けた重度の火傷の跡が「はっきり残っていると」言った。彼はXへの投稿で、「囚人たちの遺体は、動物のように縛られ、目隠しをされ、拷問と火傷の生々しい跡がついたまま戻された。刑務所で残虐行為が行われている証拠」だと書いた。遺体は埋葬地から回収したものでなく、死体安置所あたりに数か月間放置されていたことを物語っており、死体の負傷は「隠すことができない犯罪証拠」だと言った。

＊パレスチナ・メディア：ナセル総合病院の報告によれば、ハーン・ユーニス市頭部のアバサン・アル・カビーラをイスラエル無人機が襲撃し、パレスチナ人2人が死亡した。

＊ガザ政府メディア・オフィス：ガザ政府は、イスラエルのジェノサイド攻撃のため、ガザ回廊全域が環境的・構造的災害地帯となったと宣言し、推定7,000万トンの瓦礫と2万発の不発弾やミサイルが放置され、住民に永続的危険をもた

らしていると言った。このイスラエルの絶滅戦争による破壊の規模は近代史上前例がないもので、2025年10月中旬時点で6,500万から7,000万トンの瓦礫があると推定されると述べた。

＊イスラエル政府：政府は停戦合意の条項遵守を再確認し、ハマスに対し残りの人質19人の遺体の返還する義務を果たせと求めた。政府は、合意条項に従ってラファ・クロッシングを開ける予定であると述べた。

10月16日 4:49 pm

＊パレスチナ・クロニクル：トランプ大統領は、停戦計画の重要要素である人質遺体の返還のために、ハマスが「確実に」遺体捜索を行っていると言った。

10月16日 4:07 pm

＊イスラエル・メディア：イスラエル報道官は、イスラエルがハマスから9人の人質の遺体を受け取ったと発表し、残る19体の遺体の返還を急かした。

＊イスラエル軍：イスラエル・メディアの報道によれば、イスラエル裁判所がカマル・アドワン病院のフサム・アブ・サフィア院長の拘留を6か月延長した。彼は2024年12月27日に逮捕されて、行政拘留されている。

＊ガザ保健省：この24時間でパレスチナ人29人の死者が発生した。22人は瓦礫の中から掘りおこした遺体で、4人は今日のイスラエルの攻撃で殺害された者。これによって、2023年10月7日以降の犠牲者は、死者67,967人、負傷者170,179人となった。

＊UNRWA：UNRWA 広報部長のジョナサン・ファウラーは、ガザ状況は依然として破局的だと言った。彼は、停戦は悪化する危機を緩和するための第一歩に過ぎないと強調した。さらに、人道支援の円滑化が1日遅れるたびに、栄養失調と基本的必需品の欠乏で死者が増えると言った。彼は、飢餓の防止と疫病の発生を防ぎ、住民生活の再建のために、緊急行動が必要だと力説した。

＊イスラエル軍：政府は、ラファ・クロッシングの再開日は、エジプトと相談の上、後日決定すると発表した。地域政府活動調整局（COGAT）は声明を出し、人道支援物資はラファ・クロッシングでなく、他の国境通路からガザに入っていると指摘した。

＊アル・ジャジーラ：アル・ジャジーラ特派員は、赤十字がパレスチナ人囚人の遺体30体をパレスチナ側に引き渡したと報じた。

10月16日 1:35 pm

＊パレスチナ・クロニクル：停戦になって1週間だが、イスラエル軍はガザでパレスチナ人を3人殺害した。病院は破滅的な物資不足と無情な人道的危機を警告している。

10月16日 1:07 pm

＊パレスチナ・メディア：ガザ救急サービスの医療関係者は、ガザ市のアル・ブレイジ難民キャンプ東で、イスラエル軍の銃撃でパレスチナ人1人が死亡した。

＊UNRWA：停戦合意が発効しているにもかかわらず、イスラエル政府はガザへの人道支援物資の流入を阻止している。

＊イスラエル・メディア：ネタニヤフ首相は、政府はガザで死んだイスラエル人質の遺体を取り返す使命をやり遂げると表明した。彼は、イスラエルは、人質の遺骨の返還を含め、戦争の目的をすべて達成する努力を続けると強調した。

10月16日 11:44 am

＊パレスチナ・クロニクル：イスラエル政府は、ガザ停戦になったのだから、ドイツがイスラエル向け武器輸出の部分的凍結とそれに関連する渡航制限を解除するのを期待している。

10月16日 11:40 am

＊パレスチナ・クロニクル：パレスチナ抵抗勢力の治安組織の一部であるラダア部隊は、パレスチナ各派の全面的支持のもとで、イスラエルの協力者である犯罪者集団を標的にした広範な作戦を展開している。

10月16日 11:16 am

＊アル・ジャジーラ：ナセル総合病院の報告によれば、ハーン・ユーニスでパレスチナ人2人が殺害された。一人は、今朝、バニ・スハイラ地区でイスラエルのクワッドコプター型のドローン爆弾の標的となって死亡し、もう一人は、2日前に

ハーン・ユーニス市の科学技術大学付近でイスラエル軍に銃撃されたときに受けた傷がもとで死亡した。また、今朝バニ・スハイラでイスラエル無人機の攻撃で負傷したパレスチナ人2人がナセル総合病院へ搬送され、一人は重体である。

＊WFP（世界食糧計画）：3月から閉鎖されていたガザ回廊各地のパン屋が営業を再開した。

＊パレスチナ・メディア：ガザ地区南部ハーン・ユーニス東方のバニ・スハイラを標的としたイスラエルの無人機攻撃を受け、ナセル医療複合施設は重体状態のパレスチナ人2名の搬入を報告した。

＊ガザ保健省：アッシーファ病院のモハンマド・アブ・サルミヤ院長は、戦争が終わったけれど、医療サービスや医薬品入手など、保健分野では目立った改善が見られないと言った。医療関係の状況は依然として悲惨であると言った。そんな中で、釈放された囚人は拷問の後遺症で、特別なケアが必要だと、彼は言った。

＊イスラエル軍：エヤル・ザミール参謀総長は、2023年10月7日、軍は国家と国民を守るという重要な任務を果たせなかったことを認めた。

＊イスラエル軍：軍は、返還された人質2名の遺体の身元を国立法医学研究所が確認したので、遺族に通知したと発表した。軍は、ハマスに合意に基づく義務を履行し、残り的人質の遺体（遺骨）の返還に努力することを要求した。

＊パレスチナ・メディア：イスラエル占領軍は、西岸地区カルキリヤ頭部のカフル・カドゥムで、分離壁に反対し入植地に抵抗する委員会のムラド・シュタイウィ委員長の自宅を襲い、逮捕した。

10月16日 9:09am

＊イスラエルの攻勢：昨晚から今朝にかけてイスラエル軍は西岸地区に攻勢をかけ、逮捕、家屋破壊、住民襲撃などを展開、一方ガザではラファ・クロッシングの閉鎖を続けると政府が発表した。

・西岸地区襲撃：ジェニン；占領軍はジェニン市の東部地区を襲い、若者3人を逮捕した。

・カルキリヤ；カルキリヤの東のカフル・カドゥムで、分離壁に反対し入植地に抵抗する委員会のムラド・シュタイウィ委員長の自宅を襲い、逮捕した。また軍部隊は数軒の住宅を占拠し、兵舎に改造し、町の入り口を封鎖した。アズーン（東カルキリヤ）の町も襲撃した。

・ラマッラー：イスラエル軍ブルドーザーが、兵士の護衛のもとで、ラマッラーの東ノアル・ムガイヤー村の家屋を破壊した。

・占領地エルサレム；東エルサレムの北東のイッサウイヤ地区で、イスラエル軍部隊が住宅を襲撃して、家財道具を破壊した。

＊死傷者；ナブルス市で一軒の家と消防署を襲った襲撃で、子ども4人を含む8人が負傷した。エルサレム北のカランディアとアッラムでは、パレスチナ人2人が実弾で負傷し、またガス弾で負傷した。

＊ガザ状況；

・第二段階について；イスラエルのラジオ放送は、公式筋の情報として、停戦合意の第二段階は、すべての死亡人質の遺体が返還されるまで開始されないと報じた。

・ラファ・クロッシング：イスラエルのラジオ放送は、ハマスが力を入れて人質の遺体の返還を完了するまでラファ・クロッシングを開けないと政府が決定したと報じた。これは、イスラエルが人道支援を交渉カードとして使う政策を続けていることを示している。

＊その他の主だった動き；

・アル・アクサ・モスク；先週のユダヤ教の祭り期間に、9,820人以上の入植者がアル・アクサ・モスクの中庭に乱入した。

・人質の証言；解放されたイスラエル兵人質のマタン・エングレストは、拘束中、ユダヤ教の祈りに必要な祈祷具（テフィリン）、祈祷書（シッドゥール）、トーラーの巻物を要求すると、彼を拘束していたカッサム旅団が提供してくれたと語った。

・米国関係に関する懸念；イスラエルのラジオ放送は、ネタニヤフ首相官邸は、西岸地区の占領強化を目的とした法案のクネセト可決が米大統領との対立危機を招くかもしれないと懸念していると報じた。

・ガザ攻撃；ガザ市のシュジャイヤ地区東でイスラエル軍が砲撃と実弾射撃を行ったと報告された。

・ヒューマン・ライツ・ウォッチ：NGO ヒューマン・ライツ・ウォッチは、イスラエルに対し、違法な封鎖を完全解除し、自分たちが破壊したガザ復旧に尽力し、ガザの戦争犯罪の責任者を追求することを要求した。

10月15日 11:40 pm

＊米国メディア：トランプ大統領は、米国はハマスに武装解除を求めていると述べ、ハマスはそれに同意したと言い、「もし武器を放棄しないなら我々がそうさせる」と付言した。大統領は、殺害した人質の遺体を捜索しており、遺体の一部はトンネル内で見つかったと言った。ハマスはすでに遺体発掘の掘削作業を始めており、遺体の骨は長期間土や瓦礫の中に埋もれている、と言った。さらに彼は、「米軍がガザに介入する理由はない」とも言った。

＊イスラエル国防省：カッツ国防大臣は、イスラエルは、米国主導の国際部隊と組んで、ガザのトンネルを破壊すると言った。彼は、ハマスが合意履行をしなかった場合、米国と連携して再び戦闘を始めると述べた。

＊チャンネル15：匿名で治安筋が語ったところによると、戦争中アル・カッサム旅団はイスラエル軍を出し抜いていた。軍は人質に関する情報収集のために、通信チップをばら蒔いたが、抵抗勢力はそれを集めて、起動させ、人質引き渡しの前に、人質家族との通話に利用したという。

10月15日 11:38 pm

＊パレスチナ・クロニクル：ガザ保健省によれば、イスラエルから返還されたパレスチナ人囚人90人の遺体には拷問の跡、手足切断、処刑の痕跡が見られ、法医学的資源が不足しているので、医師たちは身元確認に苦慮している。

＊アル・ジャジーラ：アル・ジャジーラ特派員は、アル・カッサム旅団が人質2人の遺体 — イスラエル軍の空爆で死亡した — を、ガザ市で赤十字に渡したと報じた。

＊アル・ジャジーラ：ガザのパレスチナ治安部隊幹部は、停戦後、イスラエルがスパイや協力者を使って意図的にガザに暴力と混乱を引き起こそうとしているのに対応し、治安部隊が安定と秩序を回復し維持する作戦を開始した、と述べた。彼に説明によると、戦争中イスラエル軍とモサドはガザ内のパレスチナ人犯罪組織に資金と武器を供与して活動させていたが、停戦後は軍が表に出ないで彼らに破壊工作をやらせている。民間人を危険にさらす騒乱を防ぐために、治安部隊が責任ある行動をとっていると、彼は語った。

＊CNN：トランプ大統領は、ハマスが停戦合意に違反した場合、「私の一言で」イスラエルが戦争開始できる、と言った。ハマスが合意条件を遵守しない場合、ネタニヤフ首相の戦争再開を認可することを検討すると述べた。彼は人質解放は極めて重要だったと述べ、現在ハマスは「暴力的組織を排除する」という口実で、罪のないパレスチナ人を処刑したという報告があり、目下調査していると言った。「ギャング団が存在しているかもしれない」とも言った。彼はまた、自分がイスラエル政府と軍を抑制したと言って、「イスラエルにハマスを壊滅させる能力があったなら、とっくの昔にそうしているはずだ」と述べた。

10月15日 9:24 pm

＊アル・ジャジーラ：抵抗勢力の治安部隊「ラダア」は、ガザ回廊全域で包括的な治安作戦を続けると発表した。その声明によると、イスラエル占領軍の協力者と彼らを庇う者を標的にしている。声明は「行動を改め、入手可能な情報を提供する最後の機会は開かれている。すべての裏切者とイスラエル協力者に対する断固とした正義の拳から逃れることはできない」とある。

＊MAJD ウェブサイト¹：抵抗勢力の治安担当幹部はMAJD セキュリティ・ウェブサイトで、この数時間から数日間で、何人かのイスラエル協力者が自首してきたと述べた。自首者の保護を確実にする手続きを行った後で、「まだしなければならぬ手続きがありますが、彼らの身柄を保護し、再生させなければならぬ。イスラエル協力者が悔い改めてパレスチナ民族のもとへ帰る道は開いています」と言った。

＊アル・カッサム旅団：アル・アクサ洪水捕虜交換合意の一環として、今夕2人の人質に遺体を引き渡す。

＊アル・ジャジーラ：アル・アクサ殉教者病院の広報担当のハリル・アッダクラン医師は、ガザの各市や各町には多数の犠牲者が瓦礫に下敷きになっていると言った。彼は、遺体や骨を収容するための機材と機械、友好国からの人的支援を求めたが、「今のところ、医療支援も機器もガザの病院に届いていない」と言った。

訳注1：マジド (MAJD)はハマスの治安機関で、特にイスラエル工作員容疑者の捜索などを行う。

10月15日 8:21pm

*パレスチナ・クロニクル：今日パレスチナ抵抗勢力の指導部筋は、渡した遺体為人質のそれと一致しないとイスラエルが主張したが、それは2024年5月のジャバリヤの作戦でアル・カッサム旅団が捕虜として捕らえたイスラエル兵のものであると発表した。

10月15日 7:50pm

*パレスチナ・クロニクル：トランプ米大統領がガザ停戦合意に第二段階が始まったと宣言した一方で、イスラエルは交渉開始前にもう合意違反を繰り返していた。イスラエルの攻撃で民間人が犠牲になり続けているし、米国の富豪たちは、将来のガザを租税回避地やカジノの観光都市と見ているし、アラブ諸国とイスラエルが国交正常化してパレスチナ問題なんか消えてなくなった大イスラエルと中東「平和」が語られている。[ロバート・インラケシュの小論](#)を読みたい。